



## 高層団地に囲まれた公園の水田で

# 小学生が田植え体験！

と き 5月12日(月) 午前9時30分～午後2時20分

と ころ 区立秋の陽(あきのひ)公園(光が丘2-5-2)

12日、区立秋の陽公園の水田(約500㎡)で、近隣の区立小学校5校の5年生児童が、田植えを体験した。

参加した子どもたちは、区職員から田植えの方法や稲の成長過程について説明を受けた後、はしゃぎながら水田に裸足で入り、田植えを体験した。

終了後、区立光が丘春の風小学校の男子児童は「田んぼがヌルヌルして、田植えは思ったより難しかった。お米を作ることの大変さが分かりました」と話してくれた。

田植え体験は、都会では珍しい体験を子どもたちが楽しむとともに、お米の大切さを知ってもらうことを目的に、同公園の開園(昭和63年)以来毎年実施しており、今年で27回目を迎える。水田を管理する東部公園管理事務所は、「児童に田植えを体験してもらい、毎日のように食べているお米のありがたみを感じてもらえれば」と話している。今回植えた苗は10月ごろに刈り入れ、約120キロのもち米となり、各学校で餅つきや給食で味わう予定。



本物の田んぼで田植えを体験！

### 【当日の様子】

見事に晴れ渡った青空の下、元気いっぱいの児童たちが水田の前に集合した。

まず、区職員が水田に入り、苗の持ち方から植え方まで田植えの手順を説明。その間、児童達はそわそわして、早く水田に入りたい様子で話を聞いていた。

一通り説明が終わると、7、8人の児童が一人12株の苗を持ち、水田の中で一列に並んだ。足跡でくぼんだ場所の泥を平らにならしながら、等間隔に植えられるように張られたロープ沿いに慣れない手つきで苗を植え付けていった。



### 【今後の予定】

今後は、区東部公園管理事務所が水田を管理する。苗は順調に生育すると9月下旬から10月初旬に稲刈りの時期を迎え、約120キロのもち米が収穫できる予定。そして、学校で餅つき大会や給食の材料に使用するという。ちなみに、去年は約124キロのもち米を収穫した。

### 【会場・参加児童数について】

「田んぼのある公園」として親しまれている区立秋の陽公園(面積約18,200㎡)は、昭和初期の豊かな水田の広がる生活風景をイメージして作られた。あぜ道で6面に分けている約500㎡の水田や、農家の長屋門を模した正面入口などが特徴。苗の種類は「ミネノユキ」という種類のもち米。

今年の田植えは、区立小学校5校の5年生が参加。光が丘春の風小64名、光が丘夏の雲小95名、光が丘秋の陽小61名、光が丘四季の香小77名、光が丘第八小29人名(計326名)の児童が田植えを体験した。

【問い合わせ】東部公園管理事務所 電話03-3994-8141